

雨量測定

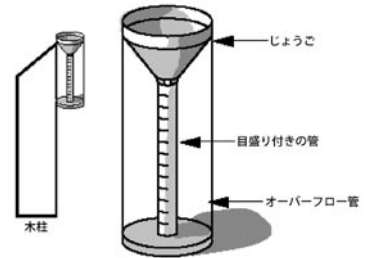


材料・器具：雨量計・（設置時）水準器・
データシート

初回の準備

◎雨量計を設置する。

- ・上空が開けた場所に設置する。
- ・強風で震動しないよう、できるだけしっかりと地面に固定する。
- ・水準器を使用して、雨量計が水平になるように注意しながら設置する。



測定する

測定管内の水位を読み取る。

その際、目盛りを水平に見ていることを確認すること。斜めに見るとデータが変わってしまう。

大雨などでオーバーフロー管に雨が流れ込んだ場合は、測定管の水位を一度書き留めたあと、測定管を空にし、オーバーフロー管にたまった雨を測定管に移し替える。

合計の水位を算出する。



記入する

データを読み取り、データシートに記入する。

※雨が降らなかった日は `0、` を記入する。

※何らかの理由で測定結果を紛失してしまった場合は `M、` を記入する。

※降雨があっても総計 0.5 ミリ以下の日は `T、` を記入する。

※毎日測定するのが基本だが、測定が行えない日があった場合は、最後に測定した日からの日数を `測定期間、` 欄に記入する。

⇒グローブデータサーバーに送信！